

令和3年度宇都宮大学農学部 学校推薦型選抜Ⅰ 試験問題  
森林科学科 小論文

問題 下表は民有林の間伐実績と間伐材の利用状況を示したものである。次の2つの設問(問1、問2)について、すべて記述しなさい。

間伐とは、こみすぎた森林を適切な密度にし、健全かつ価値の高い森林に導くために行う間引きの作業である。間伐材(間引きされた材)の取り扱いの観点からみれば、森林外に搬出して活用する利用間伐と森林内に放置する保育間伐がある。また、原材料には、表の下記の注5にある木材チップ、おがくず等は、紙・パルプや木質バイオマスエネルギー等に用いられる。

問1 間伐実績(面積)と間伐材利用量の計(材積)のH20~H30年度の推移について、両者を関連させて、読み取れることを説明し、考えられる理由を記述せよ。

問2 間伐材利用量における製材、丸太、原材料のH20~H30年度の推移について、読み取れる特徴を説明し、考えられる理由を記述せよ。

表 民有林の間伐実績と間伐材の利用状況

年度	間伐実績(千ha) 計	間伐材利用量(万m <sup>3</sup> )			
		計	製材	丸太	原材料
H20(2008)	434	368	226	39	103
21(09)	446	423	257	48	118
22(10)	445	443	270	42	131
23(11)	437	486	288	40	158
24(12)	368	521	300	36	186
25(13)	400	565	323	44	197
26(14)	339	521	291	33	197
27(15)	341	565	297	35	232
28(16)	319	576	295	30	251
29(17)	304	556	275	28	253
30(18)	269	494	237	25	232

注1: 間伐実績は、森林吸収源対策の実績として把握した数値である。

2: 間伐材利用量は丸太材積に換算した量(推計値)である。

3: 製材とは、建築材、梱包材等である。

4: 丸太とは、足場丸太、支柱等である。

5: 原材料とは、木材チップ、おがくず等である。

6: 計の不一致は四捨五入による。

資料: 林野庁業務資料